

## 山形県金融経済概況

### 1. 全体感

山形県の景気は、着実に回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は底堅く推移しており、住宅投資は一進一退の状況にある。

生産は緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

### 2. 需要項目別の動向

#### (1) 公共投資・・・基調としては持ち直し

9月の公共工事請負金額は、市町村、国などは増加したものの、独立行政法人等が減少したため、全体では3か月ぶりに前年を下回った（前年比▲3.7%）。

（図表1）公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 7月	8月	9月
山形県	96.6	91.7	▲2.2	10.5	0.5	▲3.7

＜資料＞東日本建設業保証(株)

（注）pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

#### (2) 設備投資・・・増加

8月の建築着工床面積（民間非居住用）は、教育・学習支援、運輸などは減少したものの、医療・福祉、卸・小売などが増加したため、全体では7か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比9.3%）。9月短観における2017年度の設備投資計画（全産業）は、製造業、非製造業とも上方修正され、2年連続で増加する計画（前年度比43.2%）。

（図表2）建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 6月	7月	8月
山形県	▲57.9	47.1	▲37.3	▲32.8	▲43.5	9.3

＜資料＞国土交通省

（図表3）県内企業の設備投資額（2017年9月山形短観） 前年度比、%

山形県	2015年度（実績）	2016年度（実績）	2017年度（計画）
全産業	▲9.8	24.6	43.2<4.6>
製造業	▲22.3	28.8	68.2<2.7>
非製造業	12.1	19.5	10.9<8.5>

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

### (3) 個人消費・・・底堅く推移

8月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、衣料品などが前年を下回ったことから、全体では2か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲1.6%）。

家電販売は、季節家電などが減少したことから、前年の水準を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2016年 10～12月	2017年 1～3月	4～6月	2017年 6月	7月	8月
全店	2.7	▲1.8	0.6	▲1.1	1.9	0.1
既存店	2.8	▲1.6	▲1.4	▲2.9	0.1	▲1.6

〈資料〉経済産業省

9月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、12か月連続で前年の水準を上回った（前年比11.9%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 7月	8月	9月
乗用車 (含む軽)	18.6	7.5	17.9	7.0	6.8	11.9
乗用車 (除く軽)	16.3	12.6	11.2	0.9	5.8	5.8

〈資料〉東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

### (4) 住宅投資・・・一進一退

8月の新設住宅着工戸数は、持家は減少したものの、貸家、分譲は増加したため、全体では2か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比14.3%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 6月	7月	8月
山形県	▲7.6	6.2	▲20.1	19.6	▲18.5	14.3
持家	▲6.7	30.1	▲6.3	▲1.5	▲7.5	▲1.4
貸家	▲8.1	▲14.6	▲54.8	61.2	▲29.3	31.6
分譲	▲11.8	23.3	▲8.5	19.6	▲39.3	70.0

〈資料〉国土交通省

### 3. 生産・・・緩やかに持ち直し

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、2か月連続で低下した(前月比▲1.1%)。業種別には、はん用・生産用・業務用機械、繊維など4業種は上昇したものの、電子部品・デバイス、金属製品など18業種は低下した。

7月の在庫指数(季節調整済)は、2か月連続で低下した(前月比▲1.3%)。

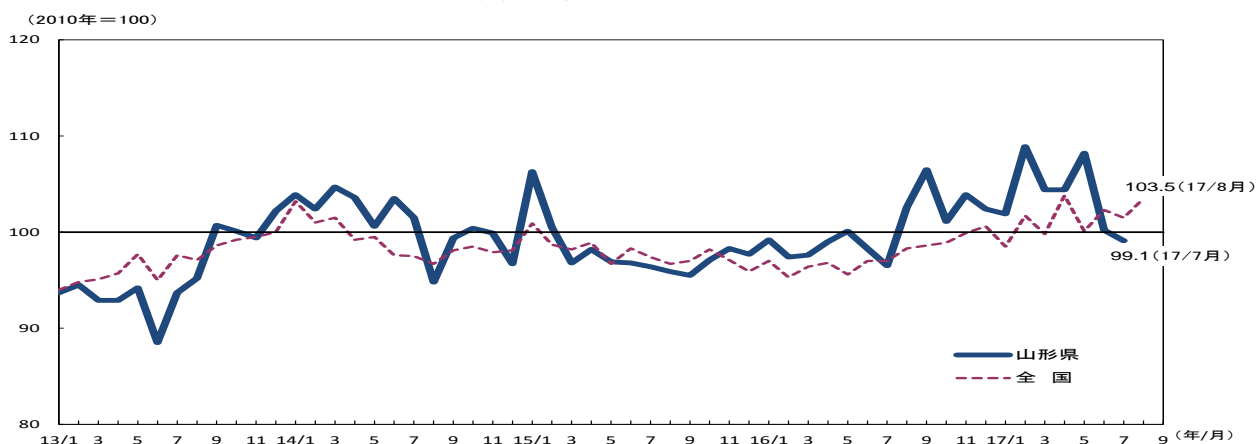
(図表7) 鉱工業指数

2010年基準

山形県		2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 5月	6月	7月
生 産	季節調整済前月比%	3.8	▲1.4	▲4.1	3.6	▲7.4	p ▲1.1
	原指数前年比%	12.4	3.8	6.9	8.8	1.8	p 2.7
在 庫	季節調整済前月比%	▲1.8	1.2	0.1	0.4	▲1.4	p ▲1.3
	原指数前年比%	▲0.7	2.7	2.6	10.2	9.5	p 6.9

〈資料〉山形県企画振興部

(図表8) 鉱工業生産指数(季節調整済)の推移



〈資料〉経済産業省、山形県企画振興部

### 4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

8月の有効求人倍率は、1.55倍となった。業種別には、医療・福祉、運輸・郵便の新規求人は減少したものの、製造業、建設などは増加した。8月の雇用保険受給者は、16か月連続で前年の水準を下回った(前年比▲16.7%)。

(図表9) 雇用関係指標(その1)

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2016年 10~12月	2017年 1~3月	4~6月	2017年 6月	7月	8月
有効求人倍率	1.38	1.42	1.52	1.52	1.56	1.55
有効求職者数	〈▲4.7〉	〈▲7.3〉	〈▲7.6〉	〈▲7.6〉	〈▲8.3〉	〈▲6.7〉
有効求人数	〈11.2〉	〈6.2〉	〈8.9〉	〈8.9〉	〈9.6〉	〈11.0〉
完全失業率	1.7	2.1	2.0	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲3.1〉	〈▲12.5〉	〈▲14.4〉	〈▲14.4〉	〈▲14.5〉	〈▲16.7〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

(注)有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

7月の常用雇用指数は、4か月連続で前年の水準を上回った（前年比1.0%）。業種別には、製造業、医療・福祉などは前年の水準を下回ったものの、卸・小売、宿泊・飲食などは前年の水準を上回った。

7月の所定外労働時間は、2か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比2.4%）。業種別には、医療・福祉、宿泊・飲食などは前年の水準を下回ったものの、建設、運輸などは前年の水準を上回った。

(図表10) 雇用関係指標 (その2) 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 5月	6月	7月
常用雇用指数	0.1	0.8	0.0	0.6	0.7	1.0
所定外労働時間	▲3.7	▲6.1	▲4.2	0.4	▲0.6	2.4

〈資料〉山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

7月の現金給与総額（名目賃金指数）は、製造業、宿泊・飲食などは増加したものの、卸・小売、建設などは減少したため、2か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲0.6%）。

7月のきまって支給する給与は、4か月連続で前年の水準を上回った（前年比1.6%）。

(図表11) 所得関係指標 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 5月	6月	7月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.1	0.1	▲2.4	0.9	▲0.4	▲0.6
きまって支給 する給与	▲1.5	▲1.4	▲1.3	0.6	0.5	1.6

〈資料〉山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

## 5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

9月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（4件）、負債総額（2.5億円）とも前年（5件、16.9億円）を下回った。

(図表12) 企業倒産 件、億円

山形県	2016年 12月	2017年 3月	6月	2017年 7月	8月	9月
件数	2	4	1	5	4	4
負債総額	32.5	4.2	0.4	6.0	5.1	2.5

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

## 6. 物価・・・前年を上回った

8月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比1.0%)。費目の内訳をみると、住居、家事・家具用品は前年を下回ったものの、光熱・水道、生鮮食品を除く食料などは前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 6月	7月	8月
総合	▲0.6	0.3	0.8	0.9	0.7	1.2
生鮮食品を除く総合	▲0.6	▲0.1	0.9	0.6	0.8	1.0

<資料>山形県企画振興部

## 7. 金融

8月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比1.2%)。

8月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比2.2%)。

この間、8月の貸出金利は低下した(前月比▲0.002%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2016年 9月	12月	2017年 3月	2017年 6月	7月	8月
実質預金+CD (末残前年比)	1.0	0.9	1.0	1.1	0.9	1.2
貸出金 (末残前年比)	3.7	2.8	2.4	2.0	2.0	2.2

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。  
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。  
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。  
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。  
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2016年 10~12月	2017年 1~3月	4~6月	2017年 6月	7月	8月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.015	▲0.013	▲0.016	▲0.003	▲0.004	▲0.002

8月末水準  
1.062%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)  
 日本銀行山形事務所  
 TEL: 023-622-4004